

起業情報 [ナノコーポ・ビジネスのすすめ]

「ナノ nano」は微細、「コーポ corp」は企業。訳せば小規模企業（起業）、ミニミニ企業（起業）となるが、「ナノコーポ」のままでもいい。アメリカ生まれの高齢者企業（起業）。

◎高齢者の就業と起業を考えるシンポジウム

「高活ビズ “ナノコーポ” のすすめ」

（2月14日・女性就業支援センター）から

「ナノコーポ」は、退職後をいきいきと過ごす「半働半遊」であり、「老後の三大不安」といわれる「健康不安」「経済不安」「孤独不安」をまとめて解消できるのがメリットで、「スマート・エイジング」（賢い加齢）には最良の事業活動です、と判りやすく解説していたのは、村田裕之東北大特任教授。高齢者の就業と起業を考えるシンポジウム「高活ビズ “ナノコーポ” のすすめ」（2月14日・女性就業支援センター）の基調講演でのこと。

そのためには「自分のやりたいことの実現」（自己実現・ライフワーク）であること、自分のこれまでのキャリアを活かせること、借入を多くせず自分サイズの事業規模にこだわること。それができないならいさぎよくやめること、それができるところが「ナノコーポ」のよさだという。村田氏は東北大学でエイジングをテーマに、高齢者と若手学生・院生とが学び合う「スマート・エイジング・カレッジ」を成立させている。

講演のあと質問の場があったので、“成長と老化”だけではなく「人生が長くなった時間は“成熟”期と理解して、ナノコーポはそれをめざすべきではないか。成熟はどう位置づけるのか」を質問した。「いい質問です」といって応えてくれたのは、加齢は成長であり、「時分の花」のあとの老化にも、「まことの花（世阿弥）」があるという位置づけであった。村田氏の「成熟」は成長しつつける「まことの花」（内的成長）であった。

○シンポジウム「高活ビズ “ナノコーポ” のすすめ」の第二部として、

「ITサポート」（有）ブリッジ社長 古橋俊夫

「愛犬のお散歩屋さん」株式会社JTL社長 古田弘二

「訪問美容『と和』」 小池由貴子

「街のお助け隊」コンシェルジュ代表 青木弘道

コーディネーター ライフデザイン21代表

柳沼正秀

で各氏の具体的経験が語られた。

主催 高齢者活動支援協議会

TEL 03-3256-7521 MAIL info@jcasca.org

シニアセカンドキャリア推進協会

TEL 03-6225-2105 MAIL info@sscpa-j.org



◎高活ビズ起業塾

高齢者による高齢者のための小規模ビジネス

「ナノ・コーポのすすめ」 1～3回

高齢者による高齢者のための小規模ビジネスと銘打って、「ナノ・コーポのすすめ」を行なっている高齢者活躍支援協議会については、本誌2012年12月号で紹介した。

[人づくり塾「高活ビズ起業塾」](#)

「この講座は、起業についての考え方や計画づくりの知識勉強会ではありません」と断ったうえで、具体的ビジネスモデルとして実経験を持つ講師を招いて講演をおこない、受講者はそれを聞いて、自らの起業の糧とするという頼りになる手法（プランでなくワーク）を提示している。

日程は平成24年11月6日（火）、12月11日（火）、平成25年1月22日（火）が1～3回。

内容としては、

1 「生活支援・充実ビズ」

例：「愛犬のお散歩屋さん」は、愛犬の散歩やしつけ。

例：「街のお助け隊」は商店街の活性化と生活便利屋さん

2 「出張・出前ビズ」

例：「訪問美容サービス」は、病気や怪我で美容院に行けない人のための出張美容サービス。

3 「知識・スキル活用ビズ」

「ITサポート」は、webサイト構築支援、シニア・パソコン支援など。

などをふくむ6講座であった。

会場は港区芝・女性就業支援センター 受講料9000円。定員35人。

◎高活ビズ起業塾

高齢者による高齢者のための小規模ビジネス

「ナノ・コーポのすすめ」 4回

日程は平成25年4月6日（土） 13:00～17:00

会場は港区芝・女性就業支援センター 受講料2500円。定員35人。

講師は交渉中。

主催 高齢者活動支援協議会

TEL 03-3256-7521 FAX 03-5295-3855

MAIL info@icasca.org

◎かじワン

高齢社の家事代行業

「かじワン」は提供する家事サービスの品質がナンバーワンであることをめざしての名称。「家事代行業」とは、高齢化が進行するなかで、自宅で自立しながら生活していく上でどうしても必要なサービスがある。そういう普通の家庭で利用でき、喜んでもらえる家事代行業である。

- ・業務内容 掃除 料理のみ 子ども 介助 料理と子ども
- ・スタッフ ~60歳 39% 61~70歳 53% 71歳~ 7%
- ・事業計画

もっとも安い価格で最高のサービスを提供する。スタッフの質の確保と教育。

- ・経営方針・理念

高齢者に働き場・生きがいを提供できる新しいビジネスモデルを開発し、実践してノウハウを創り上げ、公開して世の中に普及させる。

究極的には、お金中心ではなく、人間中心の人間味溢れる企業づくりを目指している。

- ・かじワンのこだわり

- ① シニア女性の働く場を創る
- ② 国民基礎年金だけの女性に月額5万円以上の収入を確保したい
- ③ 介護保険の財源枯渇により、生活援助サービスが削られている。低料金で「介護保険適用外の生活援助サービス」を提供したい
- ④ 東京で最もリーズナブルで高品質のサービスを提供したい
- ⑤ 派遣スタッフの時給は1200円以上を払いたい。可能な限り高い処遇をして、高い意識、意欲を持ち続けてほしい



企画室長 仁木（賢）さんに伺う。

家事代行各社はサービス内容に変わりがないのに割安プランでも普通の家庭で利用するには高い。高齢者人口は増えつづけ、若者が高齢者を支える社会システムはもたなくなる。単身や夫婦のみ世帯も増えつづけている。元気な高齢者が身体的弱者を支える体制が必要である。リーズナブルな条件でしごとができ、収入がえられる事業として「かじワン」は成功している。仁木さんは「わたしたちのノウハウを知っていただいて、多くのかじワンが活動してくれるよう願っています」という。（2013・3・15 記）

高齢社 〒101-0121 東京都千代田区外神田 3-6-4 OSビル5F

TEL 03-5296-7823 FAX 03-5295-3811

MAIL niki@koureisha.co.jp